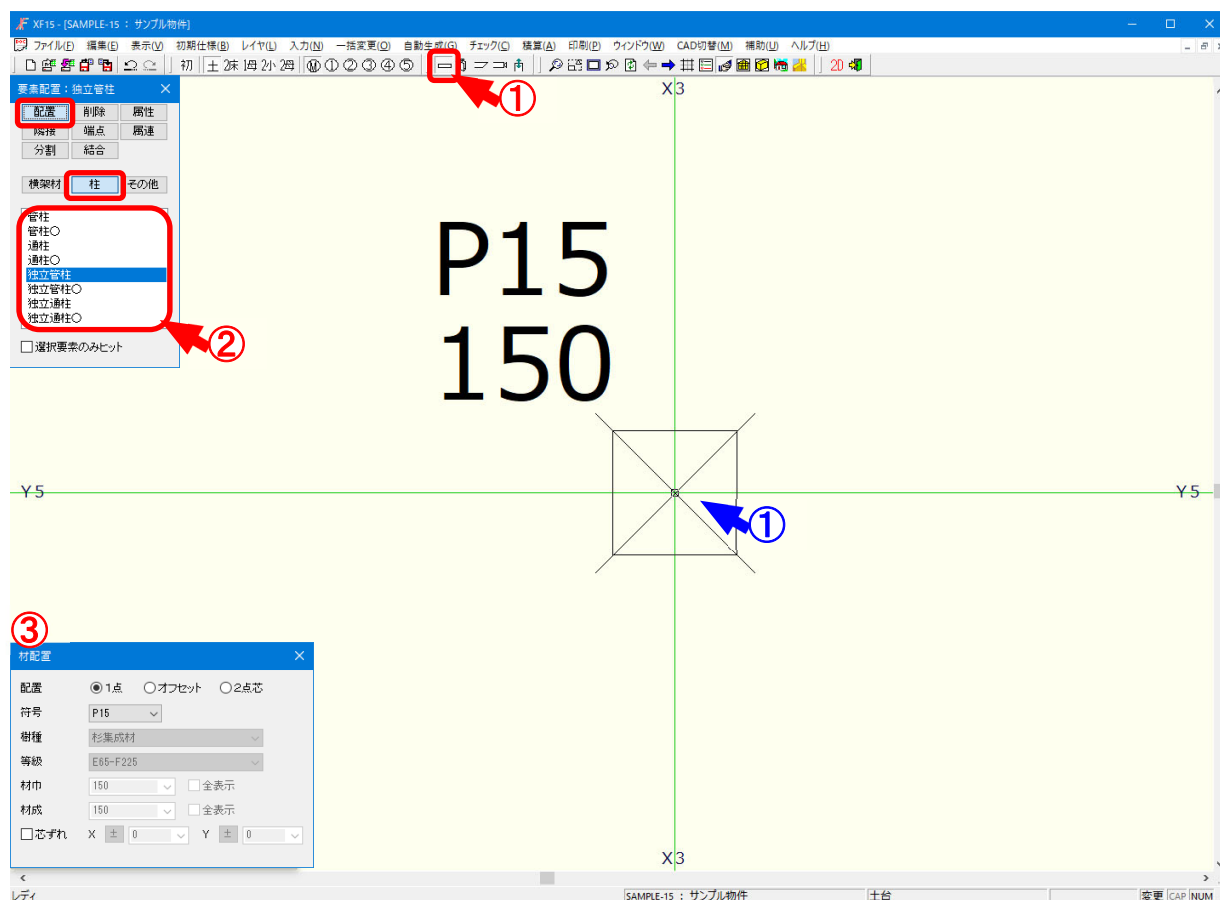


入力－要素－配置／柱



配置／柱では、要素メニューから柱材を配置します。

- ①  をクリックするか、〔入力－要素〕をクリックします。
- ② 「要素」の画面が表示されます。「配置－柱」をクリックし、材要素を選択します。
 - ・管柱／通柱：柱が横架材下端で止まります。
 - ・管柱○：柱が階高まで伸び、横架材が側面に取り付く柱です。
 - ・通柱○：柱が小屋まで伸び、横架材が側面に取り付く柱です。
 - ・独立管柱／独立通柱：柱下端が基礎に直接配置される柱です。
- ③ 「材配置」の画面が表示されます。配置する材の設定を行います。
 - ・配置：柱の配置方法を選択します。

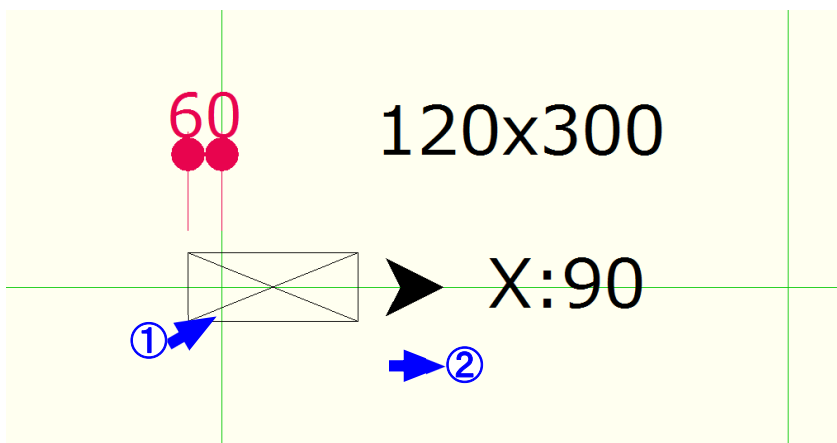
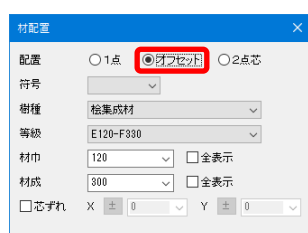
入力要素配置／柱

- ・符号：〔初期仕様－符号設定〕の「構造柱材」で設定した符号を選択します。
符号に設定した樹種、等級、材寸で材が配置されます。
※ 「符号」を選択すると、「樹種」「等級」「材巾」「材成」は設定できません。
〔初期仕様－符号設定〕で設定した樹種、等級、材巾、材成で材が配置されます。
符号は、加工図に表示されます。
また、〔表示－要素〕の「その他－柱符号」がＯＮの場合、伏図画面に符号が表示されます。
〔補助－マスター編集〕の「木取りマスター」の「木取り設定－符号が異なる材を分けて木取りする。」に設定すると、符号ごとに分けて木取りすることもできます。
 - ・樹種／等級：樹種、等級を選択します。
〔補助－マスター編集〕の「材メニュー－（材要素）」で設定した樹種、等級が選択できます。
「材メニュー－（材要素）」に登録がない場合は、〔補助－マスター編集〕の「樹種・等級マスター－樹種、等級」で設定した樹種、等級が選択できます。
 - ・材巾／材成：材巾、材成を選択または数値を直接入力で設定します。
〔補助－マスター編集〕の「材メニュー－（材要素）」で設定した材巾、材成が選択できます。
「全表示」をクリックすると、〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－材巾／材成」で設定した材巾、材成が選択できます。
 - ・芯ずれ：柱配置点からのずれ量を設定します。
チェックをつけて芯ずれ量を選択または数値を直接入力で設定します。
〔補助－マスター編集〕の「メニューファイル－芯ずれ」で設定した芯ずれ量が選択できます。
「Ｘ」「Ｙ」でそれぞれ芯ずれ方向を設定します。
- ④ ③で「配置：１点」を設定している場合は、①点でクリックした箇所に柱を配置します。

入力要素—配置／柱

< 配置：オフセット >

- ① 点目に配置基準点をクリックし、② 点目で配置する伸び方向を指定します。
基準点より配置した材巾／2 残ります。



< 配置：2 点芯 >

- ① 点目に配置基準点をクリックし、② 点目で配置する方向を指定します。
柱は芯で配置されます。

